

第2学年通信 「青」

令和4年1月21日（金）発行
多摩市立聖ヶ丘中学校
第2学年
第35号

「人生は一度きり、何事も前向きに楽しく！」～土田和歌子さんのオリパラ講演より～

17日、道徳の時間に、パラリンピックアスリートである土田和歌子さんをお招きして、講演をしていただきました。アスリートとして今もなお第一線で活躍され、輝かしい成功をおさめ続ける一方で、数多くの失敗と挫折を経験してきた土田さんだからこそ、語れることのできる、心に残る多くの言葉がありました。以下に各クラスで書いたワークシートの一部を掲載します。今回の講演を通して、また1つ「よりよく生きていくための心の持ち方と考え方」を授かりました。それらを心に留めて、また来週、健康管理に留意しながらも元気に活力をもって登校してきてください。



「失ったものを教えるな。自分の持っているものを最大限に使え！！」

【生徒の記述より抜粋】

・絶望しても前を向いてチャレンジしていく土田さんの姿はカッコいい。いつまでも引きずらないで「割り切る」というのは、思ったより精神をすり減らすことだと思う。土田さんに限らず、オリンピック・パラリンピックの選手は技術面でも精神面でも強いものを持っているだろう。すごいと思う。私は失敗することは怖いし、自分と向き合い前へ進むことから逃げたい時がある。土田さんがぶれないのは確固たる意志を持っているからだと思う。



・結果が出なかったり失敗してしまったからといって、そこで諦めてしまうのではなく、新しい方法を見つけたり、失敗を糧にして前に進んでいる土田選手はすごいと思いました。明るく前向きに考えることで、楽しむ状況を増やせるなんて、今まで考えたことがなかったので、とても感動しました。次のパラリンピックも楽しみです。

・アスリートの考え方はとてもポジティブで前向きだなという印象がありました。その考え方や諦めないことが金メダルにつながっているんだなと思いました。土田さんの言葉を頭に入れて、自分も自分のスポーツを頑張りたいと思った。

・今回の話を聞いて、感じるものがたくさんありました。きっかけがあることによって、自分のやりたいことが見つかる。人生は一度しかないから、その限られた時間の中で、やっぱり楽しむことが一番。マイナスなことばかり考えてみたら上手くはいかない。良いことをイメージすることは大切なことで、その中で努力や諦めないことが大切。

